

(様式案)			
<b>担当医 / 主治医の就業に関する意見書 (診断書と兼用)</b>			
患者氏名		生年月日	年      月      日
住所			
病名			
治療経過	(発症日、治療経過、現在の状態)  (通勤や業務遂行に影響を及ぼし得る症状や薬の副作用等)		
今後の治療予定	(定期的通院頻度、入院 / 通院治療の必要性、これから半年間の治療スケジュールなど)		
退院後 / 治療中の 就業継続の可否 職場で配慮したほ うがよいこと (望ましい就業上 の措置)	<b>現在の就業可能性</b> <input type="checkbox"/> 就業可能 (職務の健康への悪影響は見込まれない) <input type="checkbox"/> 条件付きで就業可能 (就業上の望ましい措置があれば可能) <input type="checkbox"/> 現時点では困難 (療養中心の生活を継続することが望ましい) _____ヶ月後に再度診察して判断する  <b>就業上の望ましい措置 (配慮する事)</b> 勤務時間、通勤方法と時間帯、一連続作業時間、作業体勢、重量物取り扱い、 高所作業、自動車運転など		
その他配慮事項			
上記の措置期間	年      月      日    ~    年      月      日		
上記内容を確認しました。  <div style="text-align: right;">年      月      日 (本人署名)</div>			
上記のとおり、職場復帰の可否等に関する意見を提出します。  <div style="text-align: center;">年      月      日 (主治医署名) <span style="float: right;">㊞</span></div>			
(注) この様式は、患者が病状を悪化させることなく治療と就労を両立できるよう、職場での対応を検討するために使用するものです。この書類は、患者本人から会社に提供され、プライバシーに十分配慮して管理されます。			